

2025 年 9 月 21 日 (日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい} 久宝教会

第 68 巻第 23 号 (通算 3460 号)

教会設立 1959 年 6 月 14 日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺 6 丁目 7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

^{ちい}小さく^{ひと}されている人を
^{たいせつ}大切にする^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

せいれいこうりんせつ
聖霊降臨節

だい しゅじつれいはい
第16主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

^{ぜんそう}前奏(黙^{もく}祷^{とう}) ^{ちよさくけんしょうめつ} AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

^{まね}招きの詞 ^{しへん}詩編 ^{へん} 147編 ^{せつ} 1-3節

^{さんびか}賛美歌 21-162番「見よ、兄弟が」(©塩田 泉)

^{せいし}聖書 ^{しんと} コリントの信徒への手紙 I ^{しょう} 1章 ^{せつ} 10-17節

^{いの}お祈り

^{さんびか}賛美歌 『みんなのさんびか 1』「風と歌う」(©JASRAC)

^{たいりつ}メッセージ「対立と一致を越えて」 ^{うしだ} 牛田 ^{ただし} 匡 ^{ぼくし} 牧師

^{さんびか}賛美歌 『聖公会聖歌集』2(2)番「風に目をさまして」(©日本聖公会)

^{しゅいの}主の祈り 21-62番「天にいます わたしたちの父」(©讃美歌改訂委員会)

^{たんじょうしゃしゆくふくしき}誕生者祝福式 ^{うしだ} 牛田 ^{ただし} 匡 ^{ぼくし} 牧師

^{ささげもの}献げ物(*)

^{はけん}派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

^{しゅくふく}祝福 ^{うしだ} 牛田 ^{ただし} 匡 ^{ぼくし} 牧師

^{こうそう}後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讃美歌委員会)

^{ほうこく}報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*受付に献金箱がございます。

「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

¹ハレルヤ。

我らの神をほめ歌うのはなんとすばらしいことか。

賛美は麗^{うるわ}しく、快い。

²主はエルサレムを築き

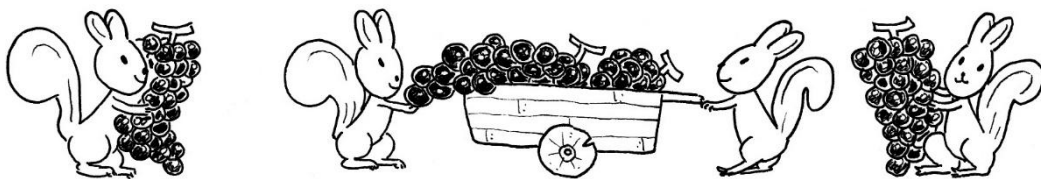
イスラエルの散らされた人々を集める。

³心の碎かれた人々を癒やし

その傷を包む。

聖書 コリントの信徒への手紙 I 1 章 10-17 節 (聖書協会共同訳)

¹⁰さて、きょうだいたち、私たちの主イエス・キリストの名によってあなたがたにお願いします。どうか、皆、勝手なことを言わず、仲たがいせず、心を一つにし、思いを一つにして、固く結び合いなさい。¹¹私のきょうだいたち、実は、あなたがたのことをクロエの家の者たちから知らされました。あなたがたの間に争いがあり、¹²あなたがたはめいめい、「私はパウロに付く」「私はアポロに」「私はケファに」「私はキリストに」などと言いつけているとのこと。 ¹³キリストは幾つにも分けられてしまったのですか。あなたがたのために十字架につけられたのはパウロでしょうか。あなたがたが洗^{バプテスマ}礼を受けたのはパウロの名によるのでしょうか。¹⁴クリスポとガイオのほか、あなたがたの誰にも洗^{バプテスマ}礼を受けなかったことを、私は神に感謝しています。¹⁵ですから、私の名によって洗^{バプテスマ}礼を受けたなどと、誰も言えないはず。 ¹⁶もっとも、ステファナの家の人たちにも洗^{バプテスマ}礼を受けましたが、そのほかは誰にも授けた覚えはありません。¹⁷キリストが私をつか^{つか}を遣わされたのは、洗^{バプテスマ}礼を受けるためではなく、福音を告げ知らせるためであり、しかも、キリストの十字架が空しくならないように、言葉の知恵を用いずに告げ知らせるためだからです。



「老いた者には知恵がある」

牛田匡牧師

聖書 列王記 上 3 章 1-15 節

今回のお話は、約 3000 年前にダビデから王位を継承したソロモン王のお話でした。神様から「願いをかなえてあげよう」と言われた彼は、長寿や富を求めるのではなく、多くの民の訴えを聞き分ける分別を求めた結果、神に喜ばれ、知恵に満ちた聡明な心と、富も栄誉も与えられ、古代イスラエル王国は興隆を極めました。

そのような「知恵」ですが、聖書の中には「老いた者には知恵があり／長寿の者には英知がある」というが、知恵と力は神と共にあり／思慮と英知も神のものである」（ヨブ 12：12-13）という言葉もあります。この言葉は、単純に「歳をとっている人はたくさんを経験しているので物知りだ」ということを言っているのではなく、そもそも知恵と力は神様から与えられるものであると言っています。言い換えれば、「年齢を重ね、長生きをしていくことが出来た、ということ自体が、神様から守られてきたからこそ出来たこと」であって、「歳を重ねるごとに命の源である神様の御許に近づいていく。だからこそ神様からの知恵と力にも近づいていく、神様の懐へと再び還っていく…」そのようなことなのではないかと思います。

歳をとると、若かった頃に比べて、体も動きにくくなりますし、以前には出来ていたことが出来なくなって、寂しく、また悲しい気持ちになることもあるかと思います。ですが、手に入れ、身に着け、握りしめてきた様々なものを、少しずつ手放していくことを通して、私たちは「本当に大切なもの」に近づいていくのではないのでしょうか。神様の知恵でもある「本当に大切なもの」、それは神様から頂いている命そのものなのではないかと思います。

生まれたての赤ちゃんが、目も開かず、足も立たなくても、全身で、与えられた命を輝かせて生きているように、年齢を重ね、年老いていく中においても、日々に命が与えられているということ、それ自体を通して、神様がいつも共におられるということを、周囲に証していくように、用いられていきたいと思えます。神様から与えられる知恵と力、その御心に従って歩むことを求める時、日々の生活に必要なその他の物も全て、必要に応じて備えられて与えられる（マタイ 6:31-33）という神様の言葉に信頼して、私たちは今日もここから、神様によって手を引かれ、導かれて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025 年 9 月 14 日

礼拝出席 大人 4 人 献金 3,200 円 中継視聴者数 16 回 感謝

柏原市にある社会福祉法人日本コイノニア福祉会の 2 つの特別養護老人ホーム「大阪好意の庭」と「第二好意の庭」の入居者の皆様と、ZOOM オンラインミーティングを用いて、ご一緒に礼拝いたしました。感謝

◎次週 2025 年 9 月 28 日（日） 教会での礼拝は休会（教会堂は閉室）です。

メッセージのみを、28 日（日）10 時半から、YouTube で配信いたします。

聖書 マタイによる福音書 18 章 21-35 節

メッセージ「7 の 70 倍まで赦しなさい」牛田匡牧師

◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行います。どなたでもご参加ください。献品も歓迎いたします。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。
- ・本日の午後、14 時～16 時半にかけて、八尾教会（八尾高校となり）にて、河内地区合同壮年会が開催されます。合同礼拝とお茶の交わりの時間の後、15 時から特別講演「AI、それは新しい隣人？」（講師：池田遼太郎さん）があります。どなたでもご参加できます。参加費は無料ですが、合同礼拝の中で席上献金があります。
- ・9 月 23 日（火・秋分の日）14 時～16 時半にかけて東梅田教会にて、大阪教区社会委員会主催の緊急集会「ガザの今、これから」が開催されます。講師は東京経済大学教授・早尾貴紀さんです。中東情勢は激化の一途をたどっています。イスラエルのガザ攻撃は、留まることはありません。ガザの今とこれからを知りましょう。
- ・9 月 23 日（火・秋分の日）10 時 45 分～15 時にかけて、日本福音ルーテル大阪教会にて、西教区女性会全体修養会「祈りと音楽に包まれて」が開催されます。講師はリラ・プレカリア（祈りのたて琴）の奉仕活動をされているキャロル・サック先生です。昼食は締め切られましたので、持参で直接ご参加ください。参加費 500 円。



◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
9/28	教会堂での礼拝は休会です（Youtube配信のみ行います）	
10/5	牛田匡牧師	（世界聖餐日）ユウカリスト・教会を考える会
10/12	牛田匡牧師	（神学校日）
10/19	牛田匡牧師	収穫感謝礼拝・おにぎり支援

河内地区合同壮年会のご案内

9月21日（日）午後2時～4時半

（於：八尾教会）

当日のスケジュール予定

2:00 合同礼拝 説教「となりの壺（とこのう）」池田遼希牧師

（※席上献金があります）

2:30 休憩 お茶とお菓子和報告と交わりタイム

3:00 特別講演「AI、それは“新しい隣人”？」池田遼太郎さん

特別講演

AI、それは“新しい隣人”？

～やさしく学ぶ生成AIの世界～

最新AI、ドローン、カーナビ、ロボットなど、AIは私たちの生活の中でますます活用されています。AIはあなたのスマホやパソコンの中に、とても身近な“隣人”のように存在しています。AIの活用とAIの“生成AI”について、実践しながら学びます。

※この学びの会は、AIの活用とAIの“生成AI”について、実践しながら学びます。

内容（予定）

● AIってそもそも何？

● AIに聞いてみよう

● AIが私たちの生活をどう変えるか？

● 便利なAI、そして注意点

● 未来のAIと私たちとは？どう共存する？

どなたでもご参加いただけます。

男性会のみならず、婦人会の皆様もご遠慮なくご参加ください。

お茶やお菓子の用意もありますので、参加をご希望のかたは事前に男性会までお申し出ください。

緊急開催

大阪教区社会委員会主催

9月23日

（火・秋分の日）

14:00～16:30

会場：日本基督教団 東梅田教会

講師：早尾貴紀さん

（東京経済大学教授）

プロフィール
東北大学文学部卒業/東北大学大学院経済学研究科博士課程修了。
博士（経済学）。ヘブライ大学及びハイファ大学客員研究員などを
経て現在、東京経済大学教授。
主な著作
『いつの日かガザが私たちを打ち負かすだろう——早尾貴紀対談
集』（青土社、2025年）、「イスラエルについて知っておきたい30の
こと」（平凡社、2025年）、「パレスチナ、イスラエル、そして日本
のわたしたち」（陽明社、2025年）ほか。

中東情勢が激化の一途をたどっています。
イスラエルのガザ攻撃は、明らかに戦争犯罪
にもかかわらず、留まることはありません。
ガザの現状をきちんと読み解き、今後どのよ
うなことが起こり得るのかを知る機会として
緊急集会を開催いたします。

問い合わせ：日本基督教団 大阪教区社会委員会 ucci.osaka.shakai@gmail.com

ガザの今、
これから